

1. 川での住民活動の経緯

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| ① 地先でのゴミ清掃、どぶ浚え    | 1960～ |
| ② 水質改善運動           |       |
| ③ ホタルやメダカ、トンボの復活運動 | 1970～ |
| ④ 親水の時代            | 1980～ |
| ⑤ 自然環境復元の時代        | 1990～ |
| ⑥ 川づくりへの参加、参画の時代   | 2000～ |

2. 川や水辺での NPO,NGO の活動領域

資料①・②

- ① 地先のかかわりから水系を通じてさまざまに拡大する
- ② 森、川、里、まち、海のネットワーク
- ③ 川の空間を活用した活動の多様化
- ④ 川でのスポーツ、リバーツアー、祭りや歳時記の再興
- ⑤ 川から教育、福祉、まちづくりなどへの展開
- ⑥ 国土管理への参画

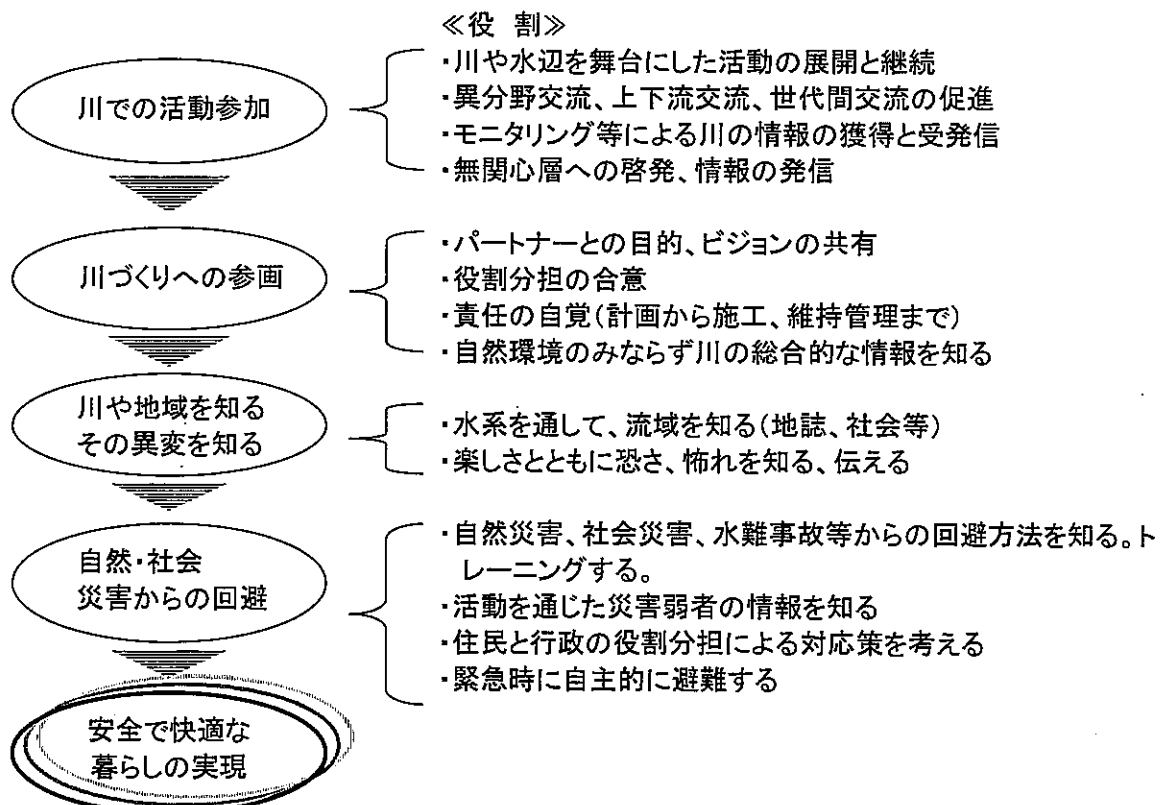
3. 住民が川づくりに参画する目的

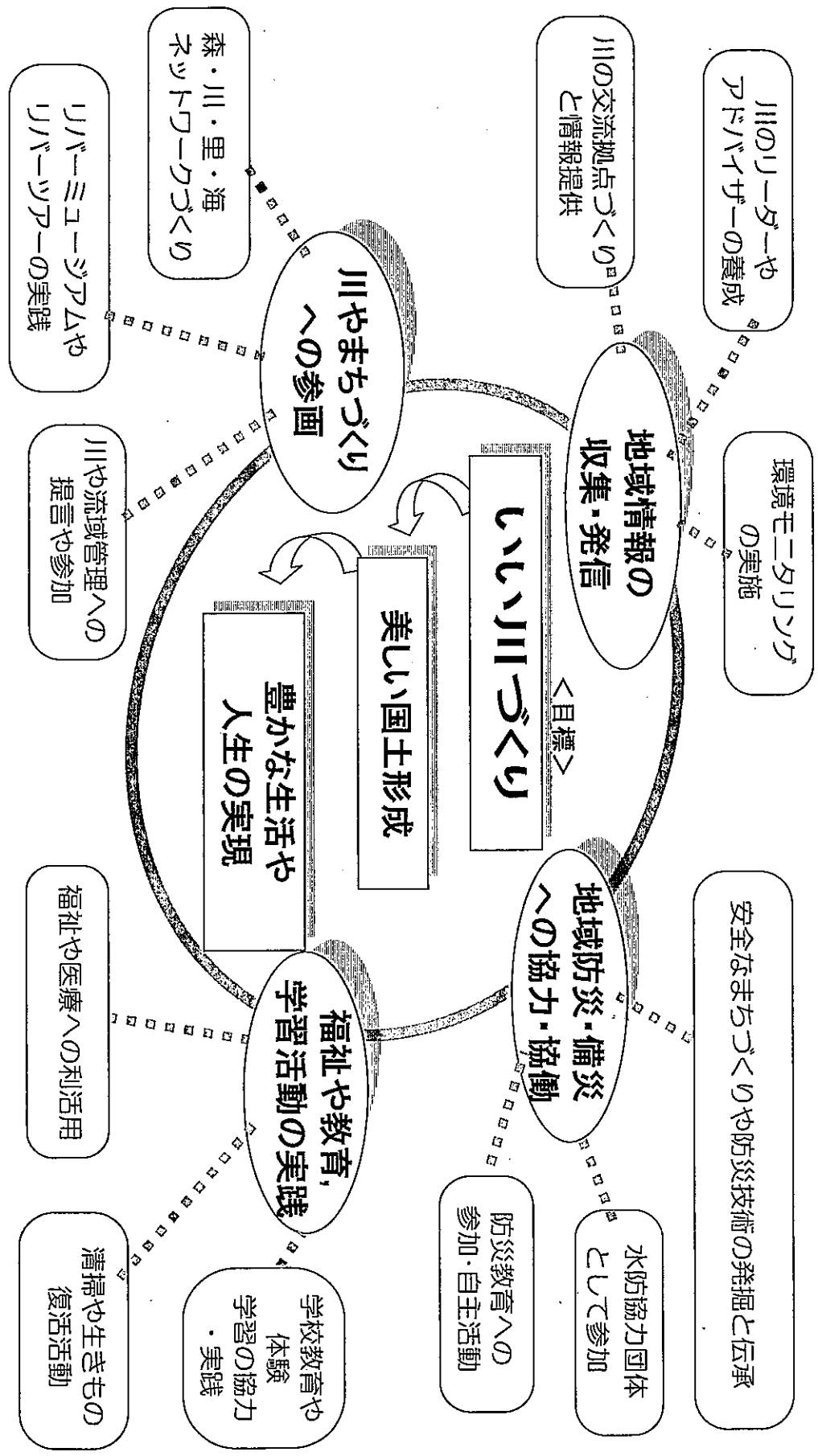
資料③・④・⑤

(3)

- ① 参画による川や郷土の歴史や文化、自然を知る
- ② 愛着を醸成する
- ③ 自ら快適で安全な川や地域づくりを可能にする
- ④ 自然や社会災害を感知し回避行動を起こす
- ⑤ 国土管理における新たな公の形成と雇用につながる

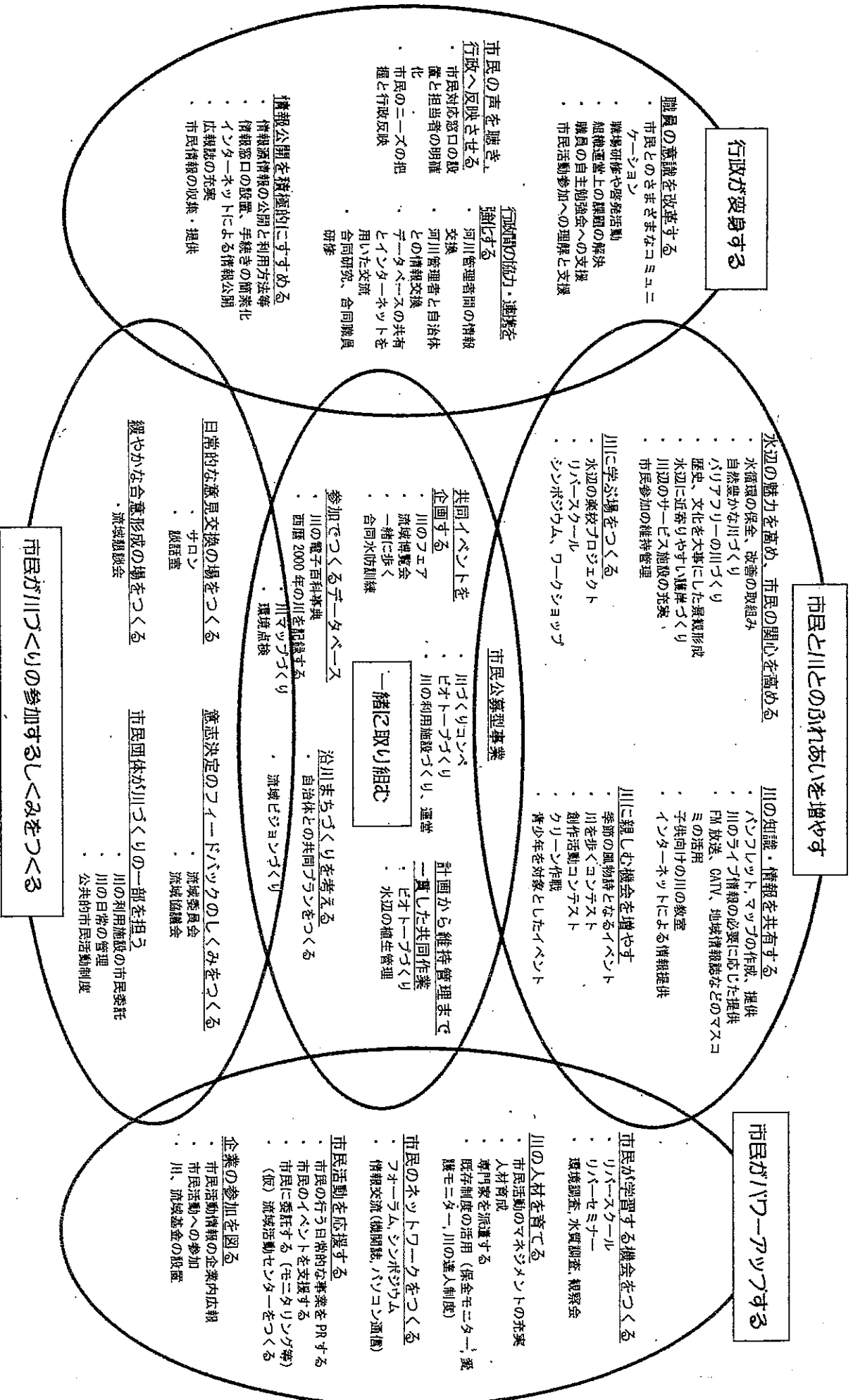
表 住民が川づくりに参画する目的の例(防災、減災の視点から)



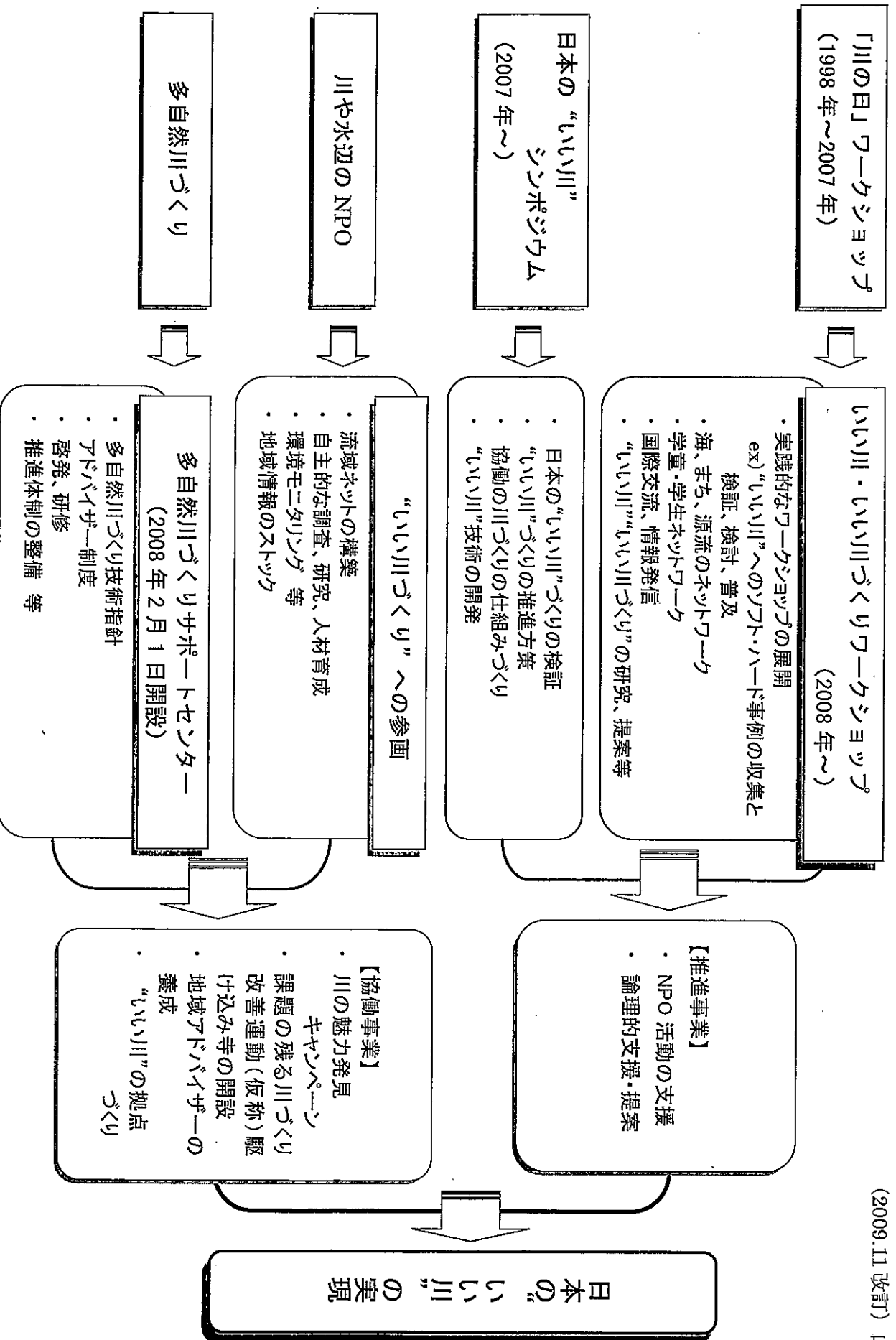


資料②

●パートナーシップで取り組む川づくりに向けての提案骨子



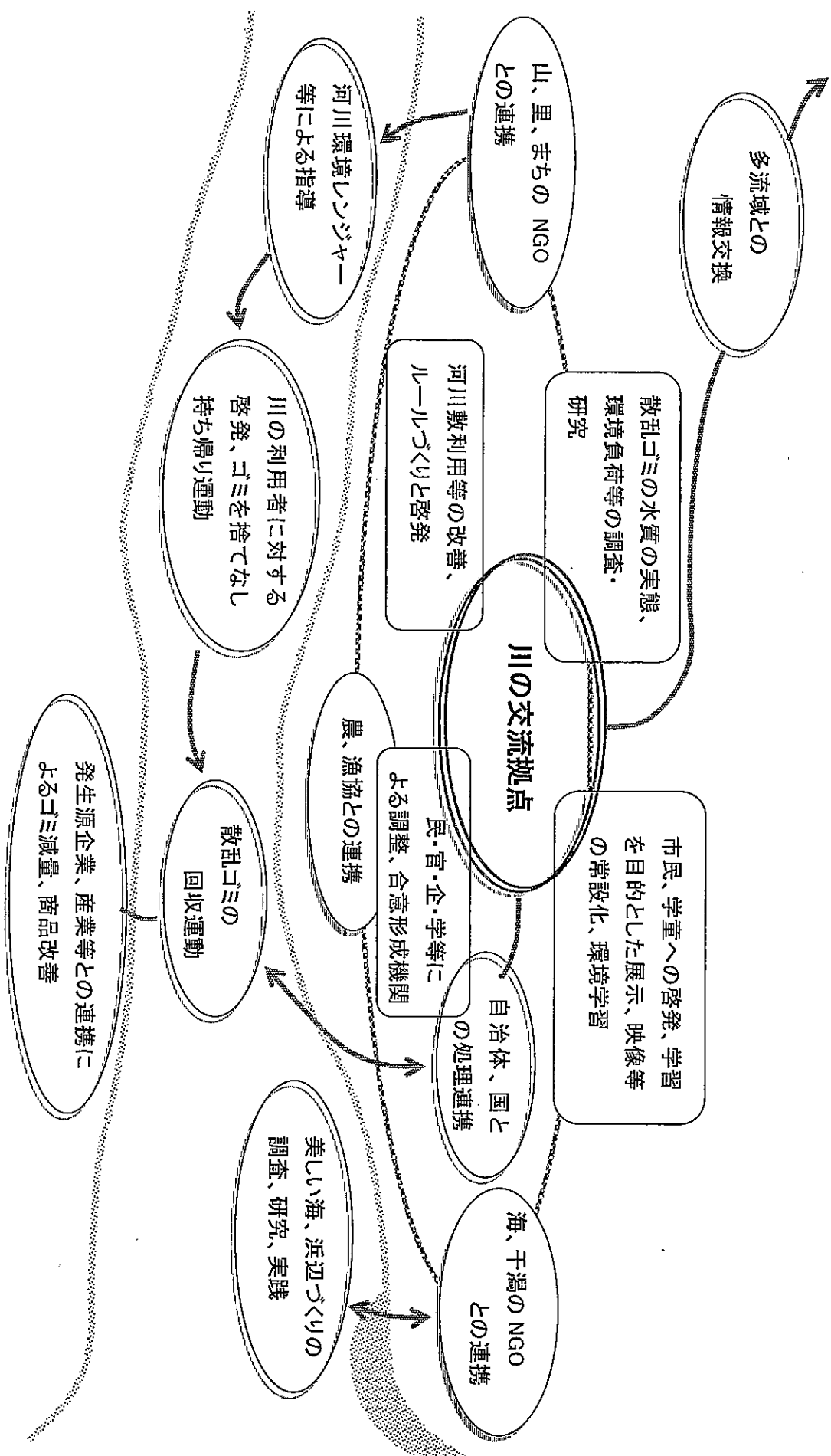
資料③ 今後の「日本の「いい川」・「いい川づくり」」住民参画のための提案



(2009.11 改訂) 山道

※ “いい川づくり”は保全、保護の概念も含む

川の交流拠点をベースにした散乱ゴミ、漂着ゴミへの対応



# 市民が参加できる自然再生の理念、思想、技術、手法の検討

## 森の理念

豊かな水を育みCO2を吸収する森  
再生産可能なバイオマス資源を生み出す森  
人の体と心を癒す森  
生き物が賑わう森  
木の文化を表現する森

多面的な機能を高度發揮する森林施業体系  
バイオマス資源の効果的・共生の手法  
森林と人とのふれあい・共生の手法  
能環地地や砂漠等の緑化技術  
伝統的な山村文化に埋め込まれた循環共生型技術

## 里の理念

風土と水・生物を活かす里  
三里四方と身土不二に生きる里  
里人とマツチ人の出会う里  
百姓が暮らせる里  
身近な生き物を保全できる里

コウノトリ・トキ  
が生きる里づくり

- ・川普請の技術
- ・川漁の技術
- ・伝承と危機管理の技術
- ・伝統的河川工法
- ・生態の保持、生物相の保護・育成の技術
- ・川見の技術

## 川の理念

川と土母が生きて暮らす川の風景  
ウツクシイ川が湧き出し、川魚が泳ぐ風景  
川が育む豊かな風景  
生きとせ、暮らしが広がる川辺の風景

(株) 2009年設立  
森里川海生業研究所の理念  
森里川海の各現場の暮らしの視点から自然再生を考え市民参加の再生を促進する

## 海の理念

漁師が市民とともに暮らせる海  
人間と生物のアメニティ空間としての海  
生物にとつてのライオンサイクールを維持できる海  
砂浜・干潟・藻場・サンゴ礁、魚場の再生  
子どもたちが安心して遊べる海

海業へ

多自然川づくりサポートセンターの確立

山村再生支援センターの設立

## 第4回 JRRN 河川環境ミニ講座 アンケート調査

日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)

平成22年2月23日(火)

今後のJRRN主催ミニ講座、その他イベントの企画・運営の参考とさせていただきますので、本行事にご参加の皆様にはアンケート調査のご協力をお願いいたします。(該当項目に○)

### 0. JRRN 会員・非会員について

- ①JRRN 会員    ②非会員

### 1. 業種、所属団体等をお聞かせください

- ①NPO・市民団体    ②コンサルタント    ③建設会社    ④メーカー  
⑤大学・研究機関    ⑥公務員(財団職員含む)    ⑦その他( )

### 2. 本セミナーをどこで知りましたか

- ①JRRN の HP    ②JRRN からのメールニュース    ③リバーフロント整備センターの HP  
③(社)河川協会の HP    ④日本水フォーラムからのメールニュース    ④知人の紹介  
⑤その他具体的に( )

### 3. 本行事へ参加した理由をお聞かせください。

- ①講演タイトルにひかれたから    ②講演者にひかれたから  
③講演内容の分野に興味があったから    ④JRRN の開催する企画に興味があったから  
⑤その他具体的に( )

### 4. 本行事の内容はいかがでしたか。

- ①難しかった    ②やや難しかった    ③ちょうど良い    ④易しかった

### 5. 本日の講座におきまして特にご興味をもたれた内容、逆にご満足頂けなかった点などがございましたらお聞かせください。(具体的に)

.....  
.....

### 6. 河川環境や河川再生に関し興味を持たれている内容や、JRRN に対する今後の期待などがあればお聞かせ願います(今後の企画で取り上げて欲しい内容、テーマ、要望、講演を聞いてみたい講師など)

.....  
.....  
.....

ご協力、ありがとうございました。お手数ですが受付に設置してある投函箱にお入れいただくか、JRRN 事務局スタッフにお渡しください。